

改訂版　序

生命科学教科書の多くの領域が、細胞培養を用いた研究成果で満ち溢れている。これは、生命科学の研究分野で細胞培養が汎用されていることの反映であり、最近の例では、iPS細胞の研究でも培養技術が使われている。

1999年の第1刷から 2009年の第9刷まで、本書の初版はおよそ1年に1刷のペースで増刷を続けた。さまざまな実験技術が日進月歩するなかで、本書が長い間支持され続けたのは、初心者のニーズに応える優れた内容であったためとの自負もあるが、細胞培養に関する最も基本的な技術の領域には変化が小さかつたためでもあろう。とはいっても、当時は常識であった方法が最近では使われなくなったり、逆に今では常識として加えておくことがあるなど、見直しを要する部分が出てきたので改訂版を出すことにした。ただ、「車を発進・停車させる初步だけを懇切丁寧に教える」という初心者向けの基本線にはいささかの変更もないで、本書の目的・狙いについては初版の序を再掲した。なお、改訂版の1つの試みとして、実験操作の動画を羊土社実験医学OnlineのPodcastで提供することとした(<http://www.yodosha.co.jp/jikkenigaku>)。初心者への技術指導には動画が大きな参考になると期待しており、ご利用頂ければ幸甚である。

初版の著者であった井出は、2006年に広島大学を定年退職し、広島国際大学を経て、現在は愛媛県立医療技術大学学長として管理職にあり、現場を離れている。このため改訂にあたっては、広島大学の後任教授である田原との共著として、同研究室の教員・大学院生・学生など現場の声も取り入れながら改訂作業を進めた。准教授:嶋本 順、助教:阿武久美子、ポスドク:徐 丹、研究員:青木絵里子、大学院生:小島安由里・鳩岡未沙子・松永純子・安野さやか・世良行寛・田村知子・平田直之、学部学生:喜々津彩・中村亜由美・須藤優樹・禪正和真・玉置 彩・坂田豊典・福永早央里・日野由美子・渕上真吾・森田博人の名を記して協力に感謝する。羊土社の編集担当は安西志保さんと熊谷 諭さんで、動画については蜂須賀修司さんの手も借りた。さまざまに工夫し知恵を絞って良い本に仕上げてくれたことを感謝する。

2010年4月

井出利憲、田原栄俊